



第 68 号

令和 7 年 8 月

会長 岡本 諒

第 2 回役員・班長会議を開催

7 月 27 日（日）、標記会議が北野連合会館にて開催され、主に今年度 8～10 月の事業の実施方針について協議されました。

1. 会長挨拶

2. 議 題

1) 夏休みラジオ体操 { 7 月 28 日（月）～8 月 6 日（水） }

6 時 30 分から約 15 分 親子で参加、子供には皆勤賞・参加賞

2) 子供七夕祭り { 8 月 7 日（木） } 16 時開始、七夕飾り、

ローソク出せ（お菓子を用意して頂けるご家庭は玄関に「うちわ」を用意）、花火大会

3) 四町合同盆踊り { 8 月 13 日(水) } 15 時～19 時

当自治会が当番になっているのでご協力を。

4) パークゴルフ大会 { 9 月 14 日（日） } 詳細は後日回覧にて

5) 敬老お祝い品の贈呈 { 9 月 15 日（月） } 喜寿、米寿、白寿該当者

6) 交通安全街頭啓発 { まちづくりセンター前 } { 9 月 26 日（金） }

13 時 30 分より 担当は北野小学校校区町内会

7) 北野通り花壇整備 { 9 月 27 日（土） }

8) 八剣山のぶどう狩り { 10 月 12 日（日） } 詳細は後日回覧にて

9) 防災訓練 { 10 月 19 日（日） } 詳細について消防署と協議

心臓マッサージや AED 使用訓練を取り入れる。

10) 北野通り花壇整備 { 10 月 25 日（土） }

11) 避難所運営ゲーム講習会 { 10 月 26 日（日） } 避難所における

トイレなどの物品の使用方法の訓練を取り入れる。

12) その他

① 第二公園での落書きや、放火などの被害があったことから、防犯カメラの設置について検討していたが、札幌市の当該物件への補助制度が本年 6 月末をもって廃止となったことから、当案件については、断念することにした。

② 最近、北野通り花壇整備について参加者が減ってきており一部の人に負担がかかっている。可能な人は是非協力をお願いしたい。

③ 資源回収は、近年減少傾向にあり、引き続き協力をお願いしたい。

炎天下も 世代を超えて和やかに交流

野外懇親会に 200 余名が参加

好天に恵まれた7月6日（日）、自治会会員交流の最大イベントである野外懇親会が第二公園にて行われました。

8時半、有志約30名が会場に集合、テーブル、椅子の運搬・設置、テントの敷設、飲み物、食べ物の準備、ごみ分別の箱の制作などに取り掛かり、若いパパたちが焼き鳥などの準備を手際よく行って、11時には準備完了。

11時15分会長の挨拶で会は始まり、来賓としてご参加頂いた北野まちづくりセンター所長、上北野町内会会長、南北野町内会会長、新和町内会会長にもご一緒に楽しんで頂きました。

この日は、少し風があったものの32℃を超える暑さで、熱中症の心配もある状況でしたが、その様な事例もなく、参加者は木陰などで思い思いのテーブルを囲み、年に一度の宴を楽しみました。

14時、ソフトドリンク160本、生ビール67ℓ、ジンギスカン15kg、焼きそば90人分、鳥串、豚串各400本など用意したものは全て完売（無料）して終了。直ちに片付け作業に入りましたが、若い会員や子供たちが自主的に取り掛かって来て、15時には全て完了しました。

正に、自治会の目的である「会員の親睦と互助精神の高揚」が、幅広い世代間で実践されたことを、目の当たりにしたひと時でした。



夏の交通安全市民総ぐるみ運動街頭啓発

令和 7 年度「夏の交通安全市民総ぐるみ運動」が、7 月 13 日～22 日までの 10 日間全道一斉に行われ、これに合わせての街頭啓発が 7 月 18 日（金）に行われました。

北野地区では、毎年、北野平小学校校区内の 4 町内会（北野中央自治会、上北野町内会、南北野町内会、新和町内会）が担当し、実施しています。

13 時 30 分より三菱自動車北野店駐車場（北野 2 条 2 丁目 20-45）にて出発式を行い、北野町内会連合会の岡本会長からの挨拶に続いて、清田区長、豊平警察署交通官、北野平小学校校長からそれぞれご挨拶を頂いた後、清田通りで街頭啓発を行いました。

参加団体は、上記の他、北野中央せせらぎ会、清田区交通安全運動推進委員会、また、北野平小学校の 5 年生の児童 52 名（例年参加している 6 年生は音楽鑑賞のため欠席）、教職員、PTA、当自治会からはせせらぎ会を含め 11 名が参加しました。

蒸し暑い天候ではありましたが、啓発のタスキを着用し「安全運転、シートベルト着用、スピードダウン」などの旗を振り熱心に、通過する車の運転手に交通安全を呼びかけました。



第 33 回北野ふれあい夏まつりの開催

7 月 26 日（土）、前日までの猛暑日が一段落して、曇り空で一時小雨にも見舞われたが心地よい風もあり、まずまずのお祭り日和となりました。

会場の北野ふれあい橋周辺は、今年も多く付近住民が集まり、大盛況となりました。参加者は、各プログラムの鑑賞や出店コーナーでの飲食を楽しみましたが、特に子供たちの多さが目立ちました。

当自治会からは、ごみ箱の管理と分別指導を環境衛生部が、自転車置き場の整理、指導を防災部と防犯部が担当しました。

花火の時刻、小雨が降りましたが、夜空に咲く 600 発の花火を楽しむことが出来ました。



なお、当祭りで最も親しまれてきた花火大会ですが、社会、経済情勢による物価高騰などにより、継続することが極めて難しい状況にあることから、止むを得ず今年度をもって終了ということになりました。

自治会研修旅行で貴重な学習体験

7月15日(火) 標記行事は21名(男性7名、女性14名)が参加して、行われました。
10時に第二公園を出発、午前中は(株)鈴木商会家電リサイクル工場、サンプラザで昼食、午後からは札幌市衛生研究所を見学し、多くのことを学びました。

1. (株) 鈴木商会の家電リサイクル工場

(西区発寒15条13丁目 発寒リサイクル団地)

家電リサイクル法により、指定されている対象家電4品目(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン)については、メーカーがこれら家電製品から有用な部品や材料をリサイクルし、再商品化する責任を負っています。

当工場は、家電メーカーAグループ(パナソニック、東芝など)からの委託を受け、リサイクルの再商品化(解体分別し資源物とする)を行う施設です。

なお、Bグループ(日立、三菱、ソニーなど)については、苫小牧にある北海道エコリサイクルシステムズ(株)が行っています。

また、産業廃棄物(事業所などから出るパソコン、プリンターなどのOA機器、ATM、ゲーム機など)についても併せて行っています。

再商品化のためには機械化は難しく、すべて手作業で素材ごとにきちんと、解体・選別されていました。

また、フロンなどの温暖化ガスや、重金属などの有害物質については、専門業者に委託処理をするなど環境汚染対策を行うことも重要な事業目的であるとのことでした。

2. 札幌市衛生研究所 (白石区菊水9条1丁目5-22)

当研究所は、市民が安心して暮らせるように、①健康や生活に関する試験検査、これに関連した②調査研究、③情報発信および④研修指導という4つを柱とした業務を行っています。

今回、これらのうち、主に①についての説明を受けました。

はじめに、研究所の組織の説明あり、続いて、市内で誕生した赤ちゃんを対象とした血液による新生児マスキリーニング(ホルモンと代謝異常の早期発見)についての説明がありました。(今年度から民間に業務委託)

保健科学課では、保健所や保健センターから依頼されたインフルエンザ、食中毒(O157、ノロウイルスなど)、HIV、また、食品関係では食品添加物、残留農薬、遺伝子組み換え、アレルギー検査などを行っています。

特に、コロナ禍の当初、PCR検査が民間での検査体制が整う前の段階では、日夜、忙殺されたとのこと。現在は、流行株などの遺伝子解析に力を入れているそうです。

また、環境科学課では、大気中の有害汚染物質やPM2.5などの監視、河川や地下水、ゴルフ場や工場からの排水の検査など、このように、日頃私たちが、新聞、テレビで見る言葉が、説明を受け、少しは理解できたように思われました。

以上いずれの施設も、その業務の重要性を幅広くアピールするためにも、施設見学を積極的に受入れるなど、環境保全のための啓蒙活動に意欲的に取り組んでいる様子がうかがわれました。